

民生病院常任委員会審査概要報告書

委員長 山口 泰祐

- I 開催年月日 令和 5 年 9 月 25 日（月）
II 会議時間 午前 10 時 00 分～午前 10 時 59 分
III 出席委員等〔出席委員〕◎山口 泰祐 ○高岡 宏和 梅島 清香
中川 加津代 坂林 永喜 上田 武
曾田 康司 狩野 安郎
（◎…委員長 ○…副委員長）
〔議長〕※中川 加津代議長は委員として出席
〔副議長〕酒井 善広副議長
〔説明員〕別紙名簿のとおり（薮下市民病院長が公務のため欠席）
〔委員外議員〕山上 尊士 出町 譲 埜田 悦子
〔事務局職員〕笹島 永吉 高嶋 史恵 二口 崇
〔傍聴者〕なし

IV 審査の概要

- 1 福祉保健部長より、介護保険料の遡及賦課誤りについて陳謝があった。保険料を過大に徴収した方には、お詫びの文書と還付案内を送付し、還付手続きを速やかに進めるとともに、保険料を過大に還付した方には、介護保険法の時効により保険料の返還は求めないこと、また、今後の法改正の際には、改正の内容について複数の職員で確認するなど、再発防止に努めるとの説明があった。

2 付託議案について

- 議案第 50 号 令和 5 年度高岡市一般会計補正予算（第 3 号）のうち本委員会所管分
議案第 51 号 令和 5 年度高岡市国民健康保険事業会計補正予算（第 1 号）
議案第 53 号 令和 5 年度高岡市介護保険事業会計補正予算（第 2 号）
議案第 54 号 令和 5 年度高岡市高岡市民病院事業会計補正予算（第 1 号）
議案第 56 号 高岡市保育所条例の一部を改正する条例
議案第 57 号 高岡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
議案第 58 号 高岡市民病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
議案第 59 号 高岡市地域交流センター条例
議案第 60 号 高岡市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例

及び

議案第 64 号 高岡市火災予防条例の一部を改正する条例

以上、予算議案 4 件及び条例議案 6 件の計 10 件について、審査の結果、全会一致で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑等は次のとおり。 〉

（ 以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示 ）

【議案第 50 号のうち、国際交流一般管理事業費について】

- 台湾からの来訪については、コロナにより一時減少したものの、今後インバウンドの促進を図り、より多くの方に来ていただくことが重要である。台湾台北市萬華区への訪問については、地域経済や観光面の活性化に大きな影響を持つと考えられるが、参加人数は何名を予定しているのか。令和 5 年 9 月の本会議の際には 9 名分の予算を見込んでいるとの答弁もあったが、見返りが大きい事業であり、もう少し人数を増やしてもいいと思う。
- △ 参加人数が未定だったため、9 名分の経費を補正予算案として計上した。訪問を通じたインバウンドの促進や今後の交流も踏まえ、現状においては、市長、市議会、市観光協会、市体育協会、市の事務局など、7 名程度の参加を見込んでいる。
- 9 名から 7 名に減ったが、そのギャップについての考えは。
- △ 費用対効果を考慮し、人数を絞って実施したいと考えている。具体的には、市観光協会や市体育協会の事務局の人数をできるだけ少数としていただくことで、7 名程度に絞っている。
- 350 万円の補正予算案を計上しているが、9 名から 7 名になったことで、予算が減ることはあるのか。
- △ 昨今の物価高騰や、業者がまだ決まっていないため、何とも言えないが、350 万円の予算内にはおさまると見込んでいる。

【議案第 53 号のうち、認定審査等費について】

- 要介護認定の申請から認定までの一連の処理を行う介護認定審査会支援システムのサーバーのサポート終了に伴い、システムを更新することだが、事前に分かっていたものか、あるいは突発的なものか。
- △ 当初から分かっていた案件ではあるが、令和 8 年度以降にシステムの標準化を控えており、システム更新の内容を精査し、できるだけ更新費用を抑える検討をしていたため、当初予算ではなく、補正予算案で計上した。

【議案第 59 号について】

- 地域交流センターの設置に向けて取り組みを進めてきているが、モデル地域以外の地域にどのように説明をしていくのか。

- △ 令和5年度に入ってから、連合自治会長、公民館長などに説明をしてきており、現在は、各地区の自治会長や各種団体の皆様が集まる際に説明の機会をいただき、地域交流センター設置についての理解を深めていただいている。地域交流センターを設置することで利用の幅が広がることや、地区連絡センター併設の公民館13館の現状なども含めて、各地区に丁寧に説明し、ご理解とご協力を得ながら進めてまいりたい。
- △ 地域交流センターについては、公民館が社会教育施設であることの制約をなくすために設置をしようとしているものであり、各地区に説明に伺っている。委員からお話のあったモデル地域とは、多機能地域自治のことであるが、本市としては、地域における地域活動、地域課題の解決に向けては、全ての世代、様々な方が関わっていただく多機能地域自治を進めていきたいと考えている。多少時間はかかると思うが、2つのモデル地域の成果をご覧いただいた上で、そうした組織づくりをしていきたいという地域があれば、市としては2つの地域と同様のサポートをしていく。こうした取組みを通じて、地域交流センターの活動をより充実したものにしていきたいと考えている。
- 説明の受け取り方の違いもあって、地域では混乱が生じているとの声も聞いているので、市も丁寧な説明に努めていただきたい。（要望）

3 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔生活環境文化部〕

- 。とやま広域窓口サービスの終了について

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

4 閉会中の継続審査について

本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査する必要があるため、会議規則第104条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。

5 その他

- 。本委員会の行政視察について

令和5年10月2日（月）から3日（火）に実施することが報告された。

- 。次回の本委員会の開催について

令和5年10月17日（火）午前10時に開催することが報告された。

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

【米国フォートウェーン市との国際交流について】

- フォートウェーン市との国際交流に向けて準備を進めていると聞いている。航空機の座席については、規定等があると思うが、その内容は。
- △ 公務出張に係る航空賃の等級については、高岡市職員等旅費支給条例第 25 条の規定に基づき、国家公務員の外国旅行の例に準じて取り扱っており、市長及び副市長並びにこれらの者の随行者については、最上級の等級となっている。しかしながら、運用にあたっては、飛行時間や公務等の状況も踏まえて判断しているところである。フォートウェーン市への派遣については、機中泊を伴う往路 12 時間、復路 13 時間の出張であり、公務に支障が出ないようにビジネスクラスとしたものである。なお、市の随行者については、エコノミークラスを利用する予定となっている。県や県内他市についても概ね同様の取り扱いであると聞いている。
- 4 点質問させていただく。1 点目は、例年エコノミークラスとしていた座席について、今回ビジネスクラスに変更した理由は。2 点目は、既に代金は支払っているのか。また金額の積算内訳を示していただきたい。3 点目は、1 人あたり約 183 万円の費用がかかるとの答弁があったが、これはおそらく参加者の平均金額のため、最も高い方の金額はいくらになるのか。4 点目は、フォートウェーン市には議長も同行すると聞いているが、議長の役割は何か。なお、この交流に係る予算については、令和 5 年度当初予算で可決しているが、当時のチェックがしっかりできていなかった。議員の一人として、チェック機能を果たせなかったことについて深く反省しており、市民の皆様にお詫び申し上げたい。国際交流については、友好を深めるうえで今後も推進していく必要はあるが、ビジネスクラスを利用したフォートウェーン市への訪問については市民の理解が得られないので、反対を表明する。
- △ 1 点目の質問について、例年との発言があったが、本市とフォートウェーン市との人の行き来は 5 年に 1 回であり、本市からの訪問については 10 年に 1 回である。直近の 11 年前については、市民交流を目的とし、訪問使節団という形で市民の方々も含めて大勢で訪問しており、そのような中、市長だけがビジネスクラスというわけにもいかないということで、エコノミークラスで移動した。フォートウェーン市には、本市のほかにもいくつか姉妹交流都市があるが、主な交流が 5 年に 1 回という関係は本市だけであり、他の都市は日常的に交流を続けていると市民委員会の方から伺った。本市としても、日常的に交流をするのが望ましいのではないかと考え、これまでフォートウェーン市と調整をしてきた。今回の訪問では、今後の交流のあり方について、両市の市長、商工会議所会頭など、トップ同士の会談で決めたいと考えている。これまでは市民交流の要素が強かったことや、訪問期間の曜日の関係上、観光要素も含まれていたが、今回は 3 日間の日程で、トップ会談、まちづくりの現地視察、企業訪問、交流を行っている学校への訪問、まちづくりを行う職員との意見交換など、公務が隙間なく入っている。こうした公務への影響を考慮し、ビジネスクラスを利用することとしており、ご理解をいただきたい。4 点目の質問について、議長の役割については、市が行う業務について市議会として立ち会っていただくということが大きいと思う。また、ご意見としていただいた市民の理解を得ることについては、今後のフォートウェーン市との交流のあり方について成果とし

て示していくことが重要であると考えており、そのための準備をしっかりと進めてまいりたい。

- △ 2点目の質問について、代金は一部について既に支払っている。内訳については、航空機代や燃料サーチャージ、宿泊費等の基本料金について、エコノミークラスの場合は約 67 万円、ビジネスクラスの場合は約 171 万円、このほか現地での交通機関に支払う運賃、添乗員、消耗品等のその他経費がかかる。3点目の質問について、エコノミークラスの場合は1人当たり約 114 万円、ビジネスクラスの場合は1人当たり約 218 万円となる予定である。
- 成果を得ることが重要とのことだが、ビジネスクラスとエコノミークラスで得られる成果は異なるのか。
- △ 先ほどから申し上げているとおり、公務出張として訪問するため、規定に基づき、ビジネスクラスを利用するものと認識している。また、今回は機中泊を伴う 12 時間超のフライトであり、その後の隙間なく埋まっている公務への影響を考慮すると、エコノミークラスでは公務に支障が出るのではないかという判断もある。他市においても、距離や飛行時間によって、ビジネスクラスとエコノミークラスとで使い分けているところであり、本市では、今回の訪問についてはビジネスクラスであると判断したところである。
- 多くの成果を得られるよう、しっかりと進めていただきたい。(要望)

【消防本部高岡消防署庁舎の建替えについて】

- 消防本部高岡消防署庁舎の建替えについて、以前、資材価格の高騰による影響を問われた際に、予定していた額におさまるといった答弁があったが、現時点での見込みは。
- △ 現在、事業費の算出について、最終的な調整を行っているところであり、資材価格の影響についても確認しているところである。必要となる事業費が積算された段階で、改めて相談させていただきたい。
- 安全・安心に関わる重要な事業であり、状況を見据えながら、分かった段階で聞かせていただきたい。(要望)

〈 当局からの報告はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

民生病院常任委員会 当局説明員（２８名）

生活環境文化部長	二 塚 英 克	市民病院長	藪 下 和 久
生活環境文化部次長	須 田 稔 彦	市民病院事務局長	柴 田 文 夫
生活環境文化部次長 共創まちづくり課長	大 野 洋 靖	総務課長	上 森 智 美
市民生活課長	松 本 武 司	医事課長	島 田 輝
環境政策課長	室 谷 智		
共創まちづくり課 多文化共生室長	橘 智 香 子	消防長	浦 島 章 浩
男女平等・共同参画課長	竹 内 文 雄	消防本部次長	有 澤 智 文
市民課長	徳 市 直 之	消防本部次長 総務課長	布 橋 隆 男
文化振興課長	寺 井 知 恵	予防課長	田 中 秀 和
		警防課長	神 谷 勝 也
福祉保健部長	戸 田 龍 太 郎	通信指令課長	沙 魚 川 文 春
福祉保健部次長	山 本 真 弘		
福祉保健部参事	長 田 由 美 子		
社会福祉課長	中 保 哲 憲		
社会福祉課 福祉連携推進室長	大 野 美 喜 子		
子ども・子育て課長 保育・幼稚園室長	野 村 岳 人		
高齢介護課長	関 原 総 臣		
保険年金課長	尾 崎 正 和		
健康増進課長	竹 田 裕 子		